

市民参加プロセス計画書：第4次岡崎市食育推進計画

Q・そもそも、なぜこの計画又は事業が必要なのか？計画策定又は事業推進により解決したい課題は何か？

「食育基本法」に基づき、市民一人ひとりが生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを目指して、平成29年3月に「第3次岡崎市食育推進計画」を策定し、様々な食育推進事業を推進してきました。
令和3年3月に、上位計画である「第4次食育推進基本計画」及び愛知県の「あいち食育いきいきプラン2025」が策定されました。また本市の「第3次岡崎市食育推進計画」の計画期間が令和4年度で満了することから、国や愛知県の計画、評価の方向性や社会情勢、本市における食育の現状と課題を踏まえ、市民一人ひとりが食育を実践するための指標となる、「第4次岡崎市食育推進計画」を策定する必要があります。

	実施時期（年月）	具体的な市民参加手法・実施場所・実施回数など	対象者（対象とした理由）	・提供する情報 ・聴取したい情報	目的（何についてどこまで合意形成したいか）
検討段階		上位計画である国の「第4次食育推進基本計画」及び愛知県の「あいち食育いきいきプラン2025」の計画の方向性と「第3次岡崎市食育推進計画」策定時の数値と最終年度時点の最終評価時の数値から、現状と課題を整理し策定することから、検討段階における市民参加の余地がほとんどありません。そのため、「第4次岡崎市食育推進計画」の概要・方向性について検討する構想段階から市民参加を実践することとします。			
構想段階	令和4年6月	岡崎市食育推進会議専門委員会議	専門委員（学識経験者、教育・農業・保健医療・食品事業者等関係団体からの意見をお聴きしたため）	・計画の方向性について ・最終評価に向けたアンケートの内容について	本市の課題・特徴、計画の方向性について専門的な御意見をお聴きし、アンケート内容及び計画の方向性を検討する。
	令和4年8月～9月	オープンハウス（パネル展示）	イベント参加者及び会場をおとずれた全ての市民（子育て世代に対して要望や課題等の率直な意見をお聴きしたため）	・これまでの取組、計画の対比 ・計画や事業への市民の関心、率直な意見	市民の率直な御意見、御要望をお聴きし、計画の方向性、重点事項、事業の展開についての参考とする。
	令和4年9月	アンケート調査	市民2,000人程度（無作為抽出）と年中児、小2、小5、中2、高2及び保護者、大学生を予定（前回調査と対比、評価するため）	・これまでの取組状況、意識についての実態及び要望	アンケート調査により実態を把握し、評価・分析を行い計画の方向性を決定する参考とする。
計画段階	令和4年11月	オープンハウス（パネル展示）	会場をおとずれた全ての市民（計画が浸透するために、どの世代にとっても分かりやすい計画であるか率直な意見をお聴きしたため）	・計画の概要、これまでの意見 ・計画や事業への市民の関心、率直な意見	市民の率直な御意見をお聴きし、計画の方向性、事業の展開についての参考とする。計画についての理解を深め、周知する。
	令和4年12月	岡崎市食育推進会議専門委員会議	専門委員（学識経験者、教育・農業・保健医療・食品事業者等関係団体からの意見をお聴きしたため）	・アンケート等による現状と課題 ・計画（案）に対する意見	計画（案）について専門的な御意見をお聴きし、計画（案）の精度を向上させる。
	令和5年1月	パブリックコメント	全市民（パブリックコメントは誰からの意見も受け付けるため）	・計画（案）に対する意見	計画（案）の内容に対する合意を得る。
実施・運用段階					